

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

軍拡 大增税 原発推進NO 消費税減税 賃上げ くらし守れ 県議 市議団がまちかどから訴え

尾村利成
県議会議員

くらし一番
何よりいのち

80回目の本会議質問へ

県議会議員 尾村利成

議員の仕事は、皆さんの声を行政に届け、その願い実現に尽力することです。

私は5期20年間、県議として働かせていただいています。議会は年に4回開催され、この20年間、毎議会

質問に立ち、県民要求実現にむけて論戦してきました。任期中最後の議会が2月13日から開会となります。2月議会では、一問一答質問を行い、80回目の本会議質問に立つ予定です。質問の準備にあたっては、二つのことを心がけてきました。一つは、必ず現地へおもむくこと（現場に足を運ぶこと）、もう一つは、住民・当事者の切実な生の声をお聞きすることです。嬉しいことに、質問日に

は、いつも多くの皆さんが傍聴に来てくださいます。他党の県議からも「尾村さんの質問日には、いつも応援が来られますね」と声をかけられるほどです。質問中に傍聴者の顔や姿を拝見すると勇気百倍、胸が熱くなります。みなさんのあたたかいご支援に改めて感謝を申し上げます。国は「敵基地攻撃能力」保有と軍事費増で、くらしと憲法を壊そうとしています。県民の願いに反する国の間違った政治に立ち向かい、くらしと命を守るため全力を尽くします。



尾村県議、舟木、たちばな両市議が訴え(20日)

尾村県議は、敵基地攻撃能力の保有や軍事費43兆円の財源は、庶民への大增税にゆきつくことは明白だと訴え、「いま政治がやるべきは、軍事費を増やすのではなく、消費税の減税、インボイス中止など、くらしの応援だ」と強調、国い



尾村県議と後援会が新しいプラスターを掲げスタンディング



たちばな市議と後援会が定例宣伝

なりの県政、「オール与党」県議会の中にあっても「日本共産党は危険な島根原発2号機の再稼働は許さず、憲法9条を守り生かす政治をつくるために引き続き力を尽くす」と決意を述べました。舟木市議は岸田政権の軍拡路線を指摘し「原発のない松



全国一斉宣伝を行う年金者組合のみなさん

1月16日、広島高裁松江支部で年金引き下げは違憲として年金者組合の原告団17人が訴えていた裁判で、国の裁量権の範囲として訴えを退ける不当判決が下されました。憲法25条の生存権、国連でも認められている社会権規約違反やILO条約違反もすべて国の裁量権として認めました。さらに、女性の低年金や年金受給者の生活の実態などの原告の主張

1月23日には、この裁判のことや物価高騰の中で年金を引き上げること等を訴える全国一斉駅頭宣伝が行われました。松江市では、くにびき大橋南詰でハンドマイクでの訴えとスタンディング、チラシの配布が行われました。年金の問題は、今の高齢者だけの問題ではなく、これから高齢者の問題です。高齢者と現役世代が安心して暮らせる年金制度を求めていくことが重要です。

安心して暮らせる年金制度を 不当判決 年金者組合が訴え

江、平和憲法を守り生かす政治を一緒に実現しよう」と訴えました。たちばな市議は、来年度予算にむけて80項目の市民の要望を届けたことを報告し「市民の命と暮らしを守る政治へ県議選でも、松江から一緒に声をあげよう」とよびかけました。



尾村県議、舟木市議と後援会がくにびき大橋でスタンディング